

2026年3月30日

気候変動解決に求められるメディアの在り方を議論する「気候変動メディアシンポジウム & Media is Hope AWARD 表彰式」を同時開催！

～単なる認知ではなく気候変動を解決できる社会を目指すとき、メディアにどんな役割が期待されるのか？求められる報道やメディアの在り方とは～

一般社団法人Media is Hope



2026年4月16日(木)に一般社団法人Media is Hope主催の「気候変動メディアシンポジウム2026」を国連大学にて開催いたします。本シンポジウムはメディア関係者を中心に、オーディエンスや企業、専門家ら多様な主体とともに年に1度開催するものです。気候変動報道の最前線としてメディアの事例を共有し、「気候変動報道を継続する仕組み」を創るための前向きな機運を高めています。

特に今回は、気候変動やエネルギー問題といった社会危機を前に、課題解決型のメディアの在り方、AI台頭時代のメディアの役割、ステークホルダーである視聴者やスポンサーとの新たな関係づくりについて議論します。会場での議論やネットワーキングを通して、気候変動報道の更なる進化、実践継続のためのシステム構築を目指します。今年「Media is Hope AWARD 2025」表彰式を同時開催いたします。

開催概要

- 日時：2026年4月16日(木) 13:00~16:00 (懇親会 16:00~17:00) ※現地対面での開催
- 場所：国際連合大学 2F Reception Hall (住所：東京都渋谷区神宮前 5-53-70)
- 主催：一般社団法人Media is Hope ■ 後援：国連広報センター
- 対象：メディア関係者中心 (他、企業や専門家、気候変動関連組織など)
- 参加費：無料 ※先着100名 ■ 申込フォーム：<https://forms.gle/UHbYCzSSNodtyaHA7>



■ 内容（豪華な登壇者は後日発表しますのでご期待ください！）：

13:00~13:10	開会挨拶（主催者：Media is Hope、後援団体：国連広報センター 根本 かおる所長）
13:10~14:00	セッション① Media is Hope AWARD 2025 表彰式 ・ テレビ/新聞/ラジオ/地方/SNS/漫画など多様な受賞者 ・ ソリューションジャーナリズム等のメディアの先進的な取り組みを紹介
14:05~14:55	セッション② 気候変動とAI台頭時代のメディアの役割（仮） ・ マスメディアが社会の繋ぎ目として機能するファクトチェックの重要性 ・ AI検索の裏側で見えなくなるメディアと、視聴者に選ばれるメディア
15:00~15:50	セッション③ 生き残り戦略としての大改革！その時、メディアを取り巻く環境は（仮） ・ より良い社会づくりのためにメディアはどんな改革が必要か ・ オーディエンスやスポンサーとの関係性、広告代理店やコンサルのネクストステージとは？
15:50~16:00	閉会挨拶（終了後17:00頃まで、同会場にて懇親会）

ー参考：気候変動メディアシンポジウム、昨年までの様子ー

■ 気候変動メディアシンポジウム2025

- プレスリリース(PRTIMES)：<https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000021.000128060.html>

■ 気候変動メディアシンポジウム2024

- プレスリリース(PRTIMES)：<https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000003.000128060.html>
- アーカイブ動画：<https://media-is-hope.org/news/2268/>



■ Media is Hope AWARD について

今年のシンポジウムでは、気候変動やSDGsといった社会課題解決へ貢献するメディア / ジャーナリストの功績を讃える「Media is Hope AWARD」の授賞式を予定しております。

問題だけでなく解決策にも焦点を当てるソリューションジャーナリズムや、オーディエンスとの対話や協力を通して課題解決するエンゲージドジャーナリズムなど、気候変動解決に資する報道や取り組みを表彰することで、その価値を発信しています。

↓↓ 受賞者一覧は次ページ ↓↓

2025年 下半期・年間 受賞者一覧：

<2025年 下半期>

- 個人賞：WoWキツネザル氏
- 媒体賞：NHK報道局

<2025年 年間>

- 個人賞：日本経済新聞社 安藤淳氏
- 媒体賞：毎日新聞社、テレビ東京
- ソーシャルメディア賞：黒部睦氏
- 作品賞：「青の王国 BlueNation年代記」（しおだまりん氏）
- データビジュアルライズ賞：「温暖化する地球を見下ろす 気候変動の15の陰影」（中日新聞社）
- シリーズ賞：「いま、地球がアツイ！」(ニッポン放送)、「気候危機にメディアはどう向き合うべきか」（NHK放送文化研究所）
- 地域メディア賞：福岡放送
- ソリューション賞：読売新聞社

(※受賞理由などの詳細は別途お知らせ予定)

問題だけでなく解決策にも焦点を当てるソリューションジャーナリズムや、オーディエンスとの対話や協力を通して課題解決するエンゲージドジャーナリズムなど、気候変動解決に資する報道や取り組みを表彰することで、その価値を発信しています。

参考：[Media is Hope AWARD2023 下半期/年間](#)、
[Media is Hope AWARD2024 上半期](#)、[Media is Hope AWARD2024 下半期/年間](#)

■ 主催：一般社団法人Media is Hope (<http://media-is-hope.org>)

気候変動を解決できる社会を実現するために、気候変動報道強化に繋がるサポートを行う非営利組織。「メディアをつくる側もえらぶ側もお互いに責任を持ち、公平で公正かつ自由なメディアと持続可能な社会の構築」をビジョンに掲げ、気候変動の本質的な解決を目指して、メディアや生活者、企業やあらゆるステークホルダーが共創関係を築く架け橋となる。また、媒体や系列を超えたメディア連携プラットフォーム【気候メディアイニシアチブ】を運営している。

メディア関係者や国連などの国際機関、専門家や実践者、市民や若者と共に、気候変動解決に求められる報道の在り方を議論する【[気候変動メディアシンポジウム](#)】や、環境省後援【[みんなでつくろう！再エネの日！](#)】を主催するなど、気候変動の解決に向けてステークホルダーが繋がり共創する場を提供。

問合せ先：contact@media-is-hope.org

一般社団法人Media is Hope 共同代表 西田吉蔵／名取由佳 宛